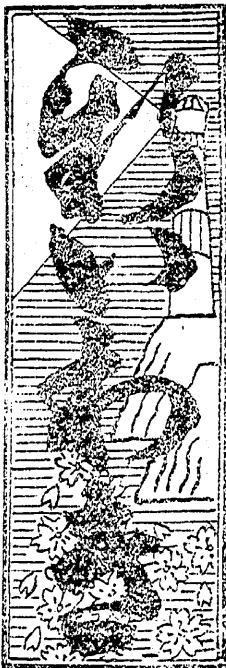


刊夕 日一十月十



休日 日曜 祭日  
一月廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十  
二月 一月 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
三月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
四月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
五月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
六月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
七月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
八月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
九月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
十月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
十一月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日  
十二月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

### 平水道と愛谷江筋

#### 鐵道へ賣る水喧嘩

結局は漁夫の利的な愚戦闘か  
鐵道では苦くない板挟み

平町が上水道擴張工事に對立して六厘五九二(一)並と  
する計畫豫算とした鐵道機しても愛谷江筋から供給さ  
る關用水の供給は愈々實行されるものより一ヶ年四、五  
に臨んであるが之れと反對に百圓安く且つ如何なる早  
に從來同所用水を供給して時にありても濁水の慮へが  
る愛谷江筋組合は一ヶ年ない上に水質の比較は問題  
千五百圓の水代収入を奪はでな、爲め江筋組合が供給  
腐心してゐる折柄最近水戸  
休線課から平町に對して水  
道供給の高架設計を託され  
去九月三日五百七十五圓の  
設計書を提出するに至つた  
事實を聞て驚愕の江筋組  
合は目下鐵道關係に猛運動  
中であるが鐵道に於て現在  
機關車用水に要する經費は津、田村、濱通り各同業組  
所記水代一千五百圓、高合に縣移管を促がし出來得  
架水槽揚水電氣動力代毎  
月二百五十圓、專任運轉  
手二名一ヶ月約百圓、  
合計四千二百圓の所用水  
量は少ない時で一日二千七  
百石多い時で三千八百石平  
均三千三百、四百石になつて  
ゐる之れを平水道の供給に  
代れば電氣動力並に運轉手  
の供給を除かれ現在片倉製  
糸に供給する特價提供(一)

### 木炭の縣管計畫に

#### 反對の檄を飛ばす

#### 濱通り組合から縣下各組合へ

民業の厭迫だこ叫ぶ

本縣では木炭検査を縣管に  
なす計畫で福島、縣南、會  
濱三郡木炭同業組合の如き  
各組合に解散反對の同意を  
求むべく檄を飛ばした模様  
であるが縣管によつて検査  
料その他が低廉となる上に  
製産品がより統一づけられ  
るものならば生産家にとつ  
ても不爲めではなく問題は  
唯だ組合管理の當事者關係  
事務所に於て入札に附する  
ことになつたが滞納金額は  
百八十六圓で町村及び件數  
を上げれば左記の如し  
△下小川六名、平窪十三

### 常識講座

我が國が櫻を愛する譯  
に國民性を表徴する各  
國の愛花は夫々異ふが  
お隣の支那は梅、英は  
薔薇、佛は花菖蒲に百  
合、印度は「けし」獨は  
矢車菊、伊太利は雛菊  
米國は山繖子等である  
現抄々しく行くものでは  
ないかと云はれてゐる

### 馬の共同運動場

#### 設置指導

石城郡馬畜産組合では養駒  
育成の爲め必要と唱ひられ  
てゐる共同運動場設置に關  
し産駒方部之れが施設を  
唱導中であるが右に對して  
本縣畜産聯合會から今十一  
日午後山本技師來平明十二  
日から左記指導をなすと  
△十二日警崎、上遠野  
十三日三坂、十四日小川  
(以上)

### 差押物件の

#### 公賣執行

小川江筋にて  
石城郡小川江筋水利組合で  
は去る六年度の組合費滞納  
者に對し財産を差押へて置  
いた物件を來る二十一日午  
前十時公賣執行の筈で關係  
各町村長宛右様書を發する  
と同時に入札希望者に差押  
物件の熟覽を求め半町管理  
事務所に於て入札に附する  
ことになつたが滞納金額は  
百八十六圓で町村及び件數  
を上げれば左記の如し  
△下小川六名、平窪十三

### 四倉市場の秋繭取引

#### 三千貫程の減少か

原因は異蠶者の多かつた爲め  
開場期間延長の模様

### 在米調査の

#### 協議會

十三日縣廳で  
本縣穀物検査所では來る十  
三日午前十時縣廳内に於て  
在米高調査に關する協議會  
を行ふ筈であるが石城郡か  
ら松本平穀検査所長及び郡  
駐在米山農林技師出席の由

### 救濟土木

#### 三ヶ村の

着工は何れ  
も稻刈過ぎ  
石城郡警崎村及び飯野村並  
に好間村の何れも今回の救  
濟土木事業に各五千圓を配  
當され村道改修に關して村  
議各區長等と公平な處置計  
畫中であるが着工は稻作刈  
上後である

### 種牡馬検査

#### 石城郡の

來る十五日から  
石城郡の種牡馬検査は既報  
の如く來る十五日から施行  
の筈であるが日割及び區域  
は左記の如くである  
△十五日前上遠野十二  
頭、午後平町三頭、十六  
日三坂川前方面(小野新  
町検査所にて)  
△十四日夏井村で  
小麥増殖栽培  
増殖講習會  
石城郡夏井村の農會では來  
る十四日午後一時から同村  
小學校に於て小麥増殖栽培

### 浮いた旅

#### 若い男女の

夫婦氣取りを  
不審と眺まる  
昨十日夜半警附近に於て暴  
動不審の若い男女があるの  
を密行の平署刑事が引致取  
調べたところ兩人は驛前福  
住旅館に長野縣上田市松屋  
町清水晴男(三)妻重子(三)  
と稱して宿泊せるも事實は  
同縣下伊那郡村の鼎字草屋  
町二一八〇小澤三郎(三)と  
同縣北佐久郡春村生れ當時  
下伊那郡飯田町とよやの女  
中川内重子(三)で三郎がま  
だ中學を出て間もない世馴  
れせぬのを引つけた重子が  
驅逐をすゝめて五十圓を命  
策せしめ去る八日無断家出  
し栃木縣宇都宮方面から手  
を携へて浮かれ歩いてゐる  
のと判り同署から親元に照  
會保護中である

### 運動會

#### 平第三校の

來る十五日  
中町第三小學校に於ける秋  
季家庭運動會は來る十五日  
開催の筈で競技の思考や當  
日の諸準備に職員生徒を擧  
げて當つてゐるが午前八時  
から催される競技種目は約  
七十種に達するらしく午後  
三時までに終了の像定らし  
い此の日は松ヶ岡公園に  
臨時忠魂祭もあるため近郷  
からの觀衆もあるべく非常  
な盛會だらうと。

### 若い男女の

#### 浮いた旅

夫婦氣取りを  
不審と眺まる  
昨十日夜半警附近に於て暴  
動不審の若い男女があるの  
を密行の平署刑事が引致取  
調べたところ兩人は驛前福  
住旅館に長野縣上田市松屋  
町清水晴男(三)妻重子(三)  
と稱して宿泊せるも事實は  
同縣下伊那郡村の鼎字草屋  
町二一八〇小澤三郎(三)と  
同縣北佐久郡春村生れ當時  
下伊那郡飯田町とよやの女  
中川内重子(三)で三郎がま  
だ中學を出て間もない世馴  
れせぬのを引つけた重子が  
驅逐をすゝめて五十圓を命  
策せしめ去る八日無断家出  
し栃木縣宇都宮方面から手  
を携へて浮かれ歩いてゐる  
のと判り同署から親元に照  
會保護中である

### 組合總會

#### 濱木炭移出商

來る十五日  
濱三郡木炭移出商組合では  
濱三郡木炭移出商組合では  
來る十五日午後一時から双  
小學校に於て小麥増殖栽培

### 三ヶ村の

#### 救濟土木

着工は何れ  
も稻刈過ぎ  
石城郡警崎村及び飯野村並  
に好間村の何れも今回の救  
濟土木事業に各五千圓を配  
當され村道改修に關して村  
議各區長等と公平な處置計  
畫中であるが着工は稻作刈  
上後である

### 種牡馬検査

#### 石城郡の

來る十五日から  
石城郡の種牡馬検査は既報  
の如く來る十五日から施行  
の筈であるが日割及び區域  
は左記の如くである  
△十五日前上遠野十二  
頭、午後平町三頭、十六  
日三坂川前方面(小野新  
町検査所にて)  
△十四日夏井村で  
小麥増殖栽培  
増殖講習會  
石城郡夏井村の農會では來  
る十四日午後一時から同村  
小學校に於て小麥増殖栽培

### 運動會

#### 平第三校の

來る十五日  
中町第三小學校に於ける秋  
季家庭運動會は來る十五日  
開催の筈で競技の思考や當  
日の諸準備に職員生徒を擧  
げて當つてゐるが午前八時  
から催される競技種目は約  
七十種に達するらしく午後  
三時までに終了の像定らし  
い此の日は松ヶ岡公園に  
臨時忠魂祭もあるため近郷  
からの觀衆もあるべく非常  
な盛會だらうと。

### 浮いた旅

#### 若い男女の

夫婦氣取りを  
不審と眺まる  
昨十日夜半警附近に於て暴  
動不審の若い男女があるの  
を密行の平署刑事が引致取  
調べたところ兩人は驛前福  
住旅館に長野縣上田市松屋  
町清水晴男(三)妻重子(三)  
と稱して宿泊せるも事實は  
同縣下伊那郡村の鼎字草屋  
町二一八〇小澤三郎(三)と  
同縣北佐久郡春村生れ當時  
下伊那郡飯田町とよやの女  
中川内重子(三)で三郎がま  
だ中學を出て間もない世馴  
れせぬのを引つけた重子が  
驅逐をすゝめて五十圓を命  
策せしめ去る八日無断家出  
し栃木縣宇都宮方面から手  
を携へて浮かれ歩いてゐる  
のと判り同署から親元に照  
會保護中である

# 農業方面

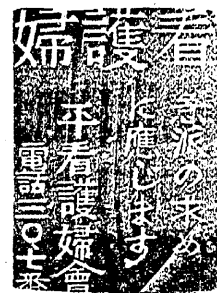
メロン栽培  
培を論ず (二)

石城分場 小島三千雄  
(一) 定植後、室内栽培の養土は最小限度を使用する場合多く従つて養土の種類その量が露地作物に比し管理に容易を来たすこと多く若し重粘土に栽培した場合は肥料の保蓄力と保水力大にして其の施肥給水の回数を減じ得らるゝも調節に困難を感じ然して調節に難宜を得れば生産品の甘味香氣概して濃厚である極端に輕せう土に栽培せば甘味や香氣の欠乏と管理の繁雜を来たす傾向があるが各一定の養土を得らるべからざれば各々理想に近く、然かも附近に多量に得らるゝ養土をいらいび養土により異なる骨を修得すべきである要するに温室栽培にさうしては土壌の分解迅速なれば粘質多量孔性即ち荒目なるものにして五、六分大の土塊の湿合せるもの然らざれば母岩の半崩解せるもの二割内外混入あれば通氣、排水を助け生育が促進される、東京附近に於て温室主要土として使用する荒木田なる土は荒川堤の汎濫により生じたるものにして最近各地荒木田を以て粘土の代名詞として居る位である、眞の荒木田は三、四ヶ月の風化に

より稍々適當の養土となる斯様に、質は各地一律に行かぬから以上の換備知識により適宜配合すべきである當場に於て適當と認むる二三の例を次回に示して見る

## 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平町 田町  
用命は 三三三屋 字田町



## お醤油は

醤油味噌  
たひら正宗  
鯉節食料品

明治生命

代理店 城

山崎合名會社  
電話(本島) 二一七〇  
電話(本島) 二一七〇

## カクニ石鹼

生命と信用を賭して精選せる純良の質と、量と、最後的一片が消え去る迄優雅な香が續く……  
お化粧用 一ヶ 十錢  
洗濯用 一ヶ 十錢  
壹打一圓二十錢  
壹打一圓

つ る や  
平町 4 電140

煙突は 朝日 煙突  
石綿セメント製  
朝日煙突  
絶対的  
はびきり  
くさらない  
経済的で  
火災の心配がない  
金屋商店

磐城共濟病院案内  
院長 醫學博士 石山謙郎  
小兒科 醫學博士 石山謙郎  
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 佐久間粹  
喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二  
産婦人科 醫學士 五十嵐雄二  
X光線科 醫學博士 石山謙郎  
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎  
技師 高後利雄  
藥局 藥劑士 吉本幸平  
診療時刻 午前八時より午後五時迄  
但急患は此の限りに非ず  
平町 磐城共濟會  
電話六四一

模範 裁縫  
高島屋洋服店  
平町驛前 電三八六番  
洋服の御用命は 高島屋へ  
新柄着荷

食堂設備 室内裝飾 お好みので 設計製作  
御用命直ちに專屬の技術員を差遣し破格的大勉強で調へ致します  
丸ほん家具店  
平町三丁目電話三五九番

淋病最新藥  
美神 一週分四〇〇  
淋藥 二週分八五〇  
代理店 山野邊藥局  
平町四丁目 郵便局前

スペイン G.H.N 元 詰  
甘味葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
1・10  
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です  
(平二) 西村屋藥舖 (電三)

服んで良く効く  
(絶対に胃腸を害しません)  
淋病と消渴の特効藥 濟淋  
本舖責任製劑 水野藥局  
平町一丁目 振替貯金口座 仙一八八七六

諸毒下の大妙藥  
安流丸  
平町五丁目  
持約 山野邊藥局

油問屋 店油内關  
064・61 長話電 平城磐  
ガソリン モビール油 日本石油株式會社  
支店 郡山市 電話長八二三  
支店 茨城縣 電話長平七三三  
支店 出張所 電話長平七三三  
支店 郵便局前